

令和4年度 施策・事務事業評価結果について

【概要】

- 限られた財源や人材で、複雑多様化する県民ニーズに的確に対応しながら持続可能な県政運営を行っていくためには、時代の変化を踏まえた行財政運営の不断の見直しが必要
- 県政の基本方針である総合計画の最終年度である本年度、計画が掲げる「施策の目指す姿」の推進状況を総括的に確認
- 政策効果を高めるための施策や事業の磨き上げに加え、政策効果の乏しい事業の見直しを徹底するため、施策・事務事業評価を一体的に実施
- 総合計画における「施策の目指す姿」の実現に向け、9割の施策で順調な進展がみられる一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で進展が小さい施策も存在
- 順調に進展している施策については、政策効果を高める施策や新たな課題へ対応する施策に取り組み、進展が小さい施策については、新型コロナウイルス感染症など状況の変化を踏まえ対応策を講じ、「施策の目指す姿」の実現に向けた取り組みを進めていく。

■ 施策・事務事業の内容

- ・ 評価対象 施策評価 総合計画アクションプランのうち「基本理念の実現に向けた政策体系」に掲載の179施策
- 事務事業評価 179施策の「具体的な事業」に連なる細事業
- ・ 評価方法 「施策の目指す姿」の実現に向け、各施策の成果指標の達成状況、事業の実施状況、施策を取り巻く外部環境への対応等を総合的に評価

■ 施策評価

- ・ 179施策のうち、162施策が順調に進展。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大が雇用・教育・生活など広範な施策の推進に影響

順調に進展	進展が小さい	計
162	17	179

■ 事務事業評価

- ・ 179施策の「具体的な事業」に連なる637の細事業のうち、実施状況を踏まえ、17の事業を見直し（予算要求に反映）

廃止	他事業と統合	縮小	実施方法の変更	計
4	1	1	16	22

